

**取組名称：基幹保育者養成プログラム開発のための共同教育事業**

**取組大学：名古屋短期大学（代表校）、桜花学園大学、岡崎女子短期大学、名古屋柳城短期大学**

知識基盤社会、少子高齢化、科学技術の発展、グローバル化の顕著な21世紀日本においては、新しい時代の課題を担う人材の育成が不可欠の要件となっている。こうした課題に対処するには、生涯にわたる教育の改革と質保証が求められている。むろん待機児童の解消、幼保の一体化、及び小学校教育との接続性が問われる幼児教育（保育）も例外ではない。以上のような問題意識のもと、本事業では、保育者養成の伝統と実績と個性を有し、愛知県下の4割の保育者養成を担う1大学と3短大が連携・共同して「保育コンソーシアムあいち」を結成し、教学ガバナンスの構築のもと、(1)保育者として必要な実践力や科学的専門的知性を培うことが可能なカリキュラムの体系化と編成、(2)正課教育と正課外教育の結合・構造化、(3)地域に開かれたコミュニティ・カレッジとしてのカリキュラムなど、を主な内容とする「共同教育プログラム」を研究・開発する。

